

言語教育とは

幼児期の言語習得の特徴は、目、耳から入った言葉をすばらしいスピードで吸収していくということができるということです。

そういう意味から人的環境、物的環境ともに充実させ、子供が多くに興味を抱けるようにしむけてやるのが重要です。

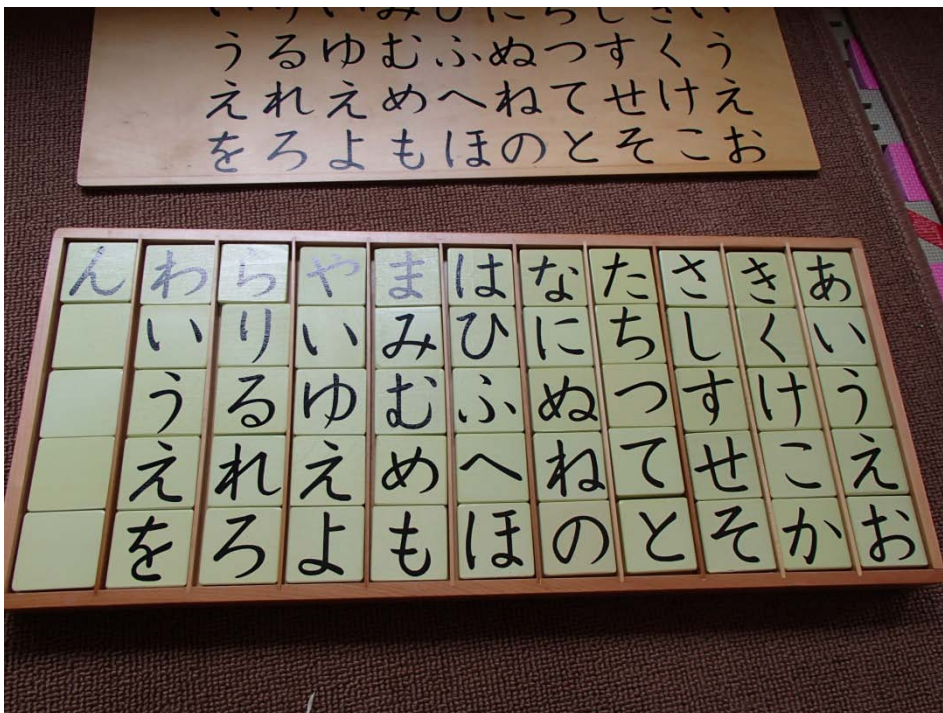
絵本の読み聞かせ、劇などに役割をもって参加するなどということはもちろんですが、こどもの部屋では、絵合わせカード、親子合わせカード、ひらがなゲーム、自然分解カードなど一般家庭や普通の保育室では、出会うことのできないようなモンテッソーリの教具を取り揃えています。

就学までに子供の語彙をどのくらい増やしてやれるかが重要なポイントとなります。そういった意味から、普段決して出会うことのできないような物とも出会うことができるのが「こどものへや」です。

又ひらがな、カタカナを教えるにあたってはモンテッソーリ教具を使用して、独自の教え方をし、就学後に困ることのないようにカリキュラムを組んでいます。単にドリルなどで習得するのではなく、遊びを通して教育を行うので、楽しい経験の中で習得していくようにカリキュラムが作られています。



※次のページに写真の続きがあります。



※END